

2009年3月期 第2四半期 連結業績説明会



Internet Initiative Japan

株式会社インターネットイニシアティブ (証券コード: 3774)

2008.11.13

<http://www.ij.ad.jp/IR/>

- ・ 2009年3月期 上半期総括
および 今後の見通しについて

- ・ 2009年3月期 第2四半期連結業績について

- ・ ご参考資料

2009年3月期 上半期総括 および 今後の見通し

09年3月期上半期実績

・営業収益(売上高)	33,254百万円	(前年同期比	10.9%増)
・営業利益	1,005百万円	(前年同期比	44.6%減)
新設子会社営業損失	453百万円		

- **営業収益は前年同期比10.9%増収、ストック売上は堅調に伸長**

- **SI構築売上の計画未達、不採算案件による影響**

- 特にアプリケーション開発等の新規投資案件に景気影響
- SI不採算案件への対応により粗利およびリソースコントロールにマイナス影響

- **中長期成長を展望した先行的なコスト増加**

- 新規事業立ち上げコスト増加
- 積極的な採用活動にて上半期で前年度末対比186名の連結従業員数増加

- **景気後退影響・新規事業立ち上げ時期ずれ込みを考慮し通期業績修正(10/24公表)**

- 1株当たり配当予想は変更なし(通期配当見込み:2,000円、前年度比+250円)
- 足元の景気影響は顕在化したが中長期的な企業の情報システムIP化ニーズは不変と認識

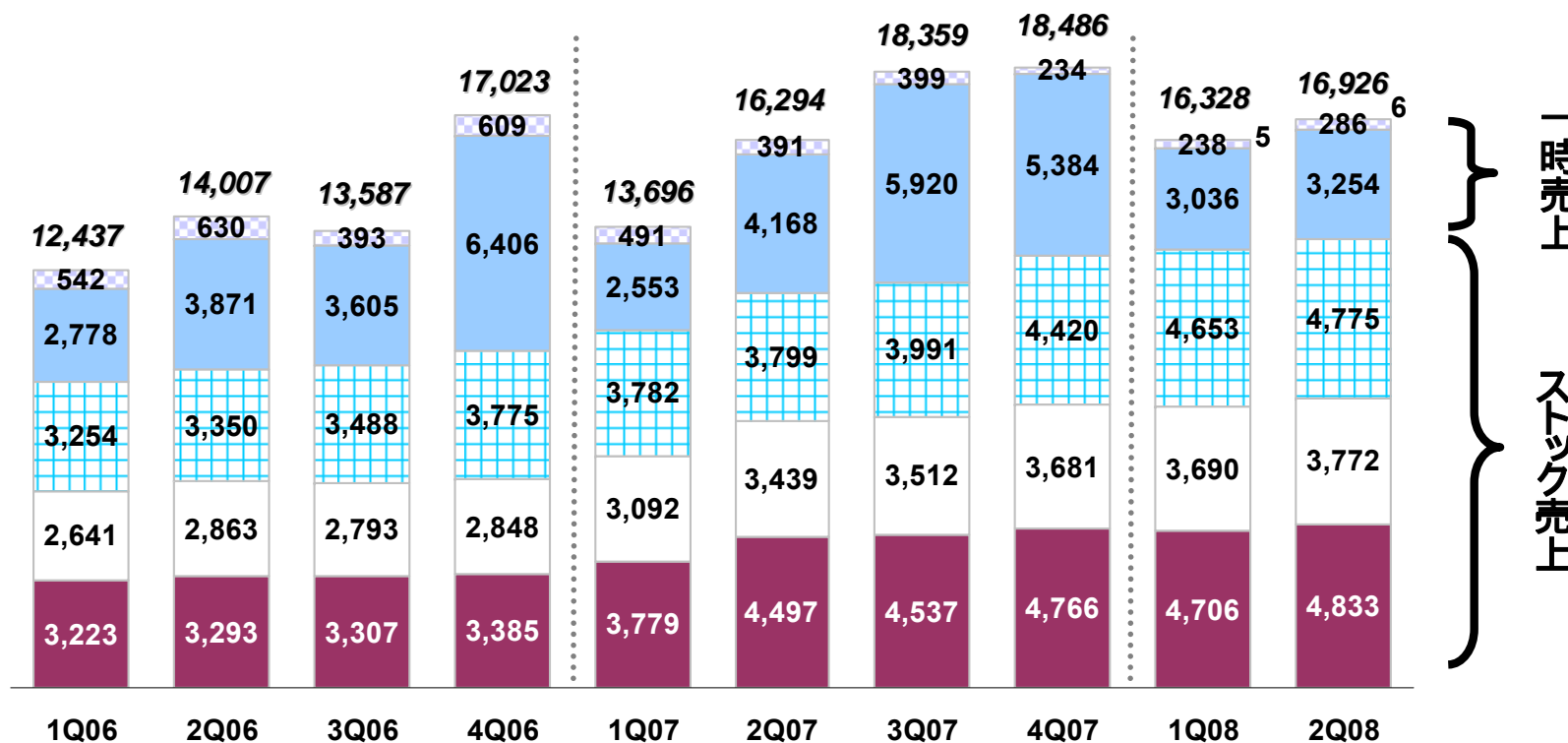
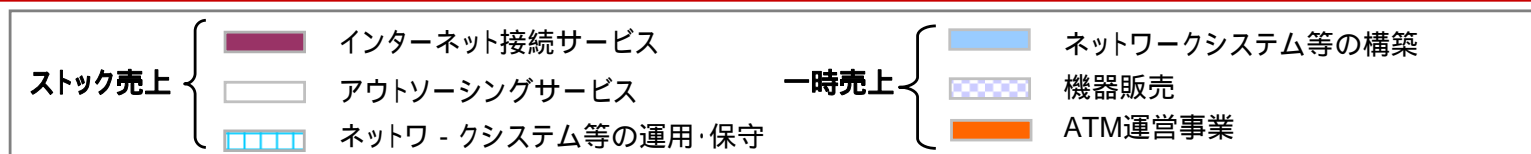
- **自社株買いを実施(10/28公表) 上限4億円 or 4,000株 11/14 ~ 1/30**

-1. 2009年3月期 上半期連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 1H08 (08/4 ~ 08/9)	売上比 1H07 (07/4 ~ 07/9)	前中間期比	修正後 見通し	期初 見通し
営業収益 (売上高)	332.5	299.9	10.9%	332.0	345.0
売上原価	81.4% 270.8	79.4% 238.1	13.7%	—	—
売上総利益	18.6% 61.7	20.6% 61.8	0.2%	—	—
販売管理費等	15.5% 51.6	14.5% 43.6	18.4%	—	—
営業利益	3.0% 10.1	6.1% 18.2	44.6%	9.5	18.5
税引前当期利益	2.3% 7.7	5.7% 17.0	54.9%	7.0	16.5
当期純利益	1.1% 3.7	11.6% 34.8	89.4%	3.0	8.0

-2. 営業収益(売上高)の推移

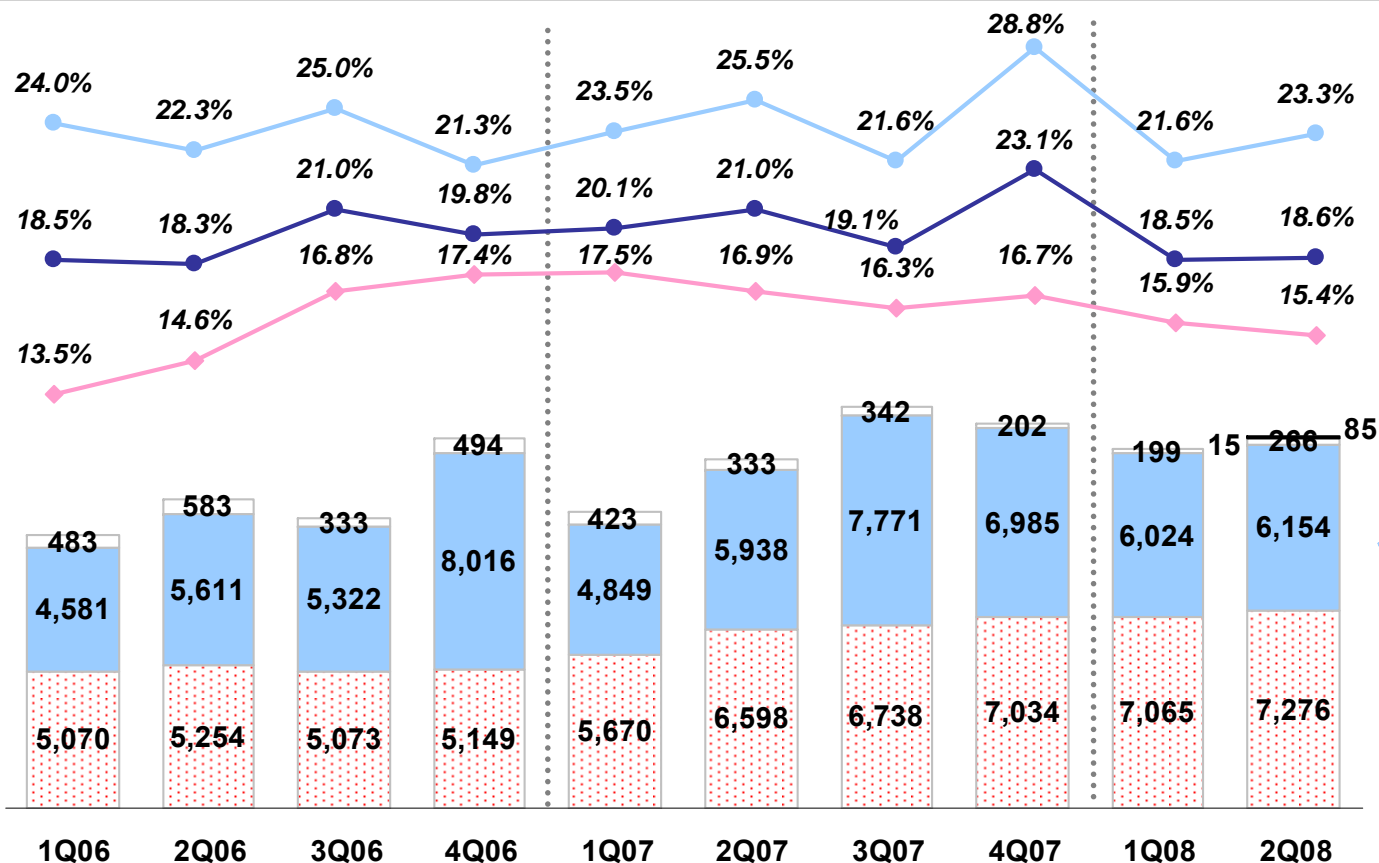


- ◆ストック売上は堅調に積み上がり13,379百万円、2Q07比14.0%増、1Q08比2.5%増。
- ◆一時売上は景気影響やSI構築の不採算案件に伴う影響を受け3,546百万円、2Q07比22.2%減、1Q08比8.2%増。

-3. 売上原価・売上総利益率の推移

単位:百万円

売上原価 インターネット接続及びアウトソーシングサービス システムインテグレーション 機器販売
売上総利益率 インターネット接続及びアウトソーシングサービス システムインテグレーション ATM運営 全体売上総利益率



システムインテグレーション原価
仕入、外注関連、設備関連、人件関連費 等

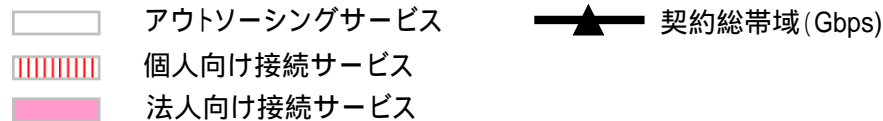
インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価
バックボーン等の回線関連、ネットワーク運営設備関連、外注関連、人件関連費 等

- ◆インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価：2Q07比10.3%増、1Q08比3.0%増。
回線関連費用、設備関連費用等の固定的コスト増、新設子会社の原価増により、売上総利益率は1Q08比0.5ポイント減
- ◆システムインテグレーション原価：2Q07比3.6%増、1Q08比2.2%増。
不採算案件の影響はあったものの、売上規模拡大により売上総利益率は1Q08比1.7ポイント上昇。
- ◆ATM運用原価：2Q08にて85百万円、1Q08比71百万円増。

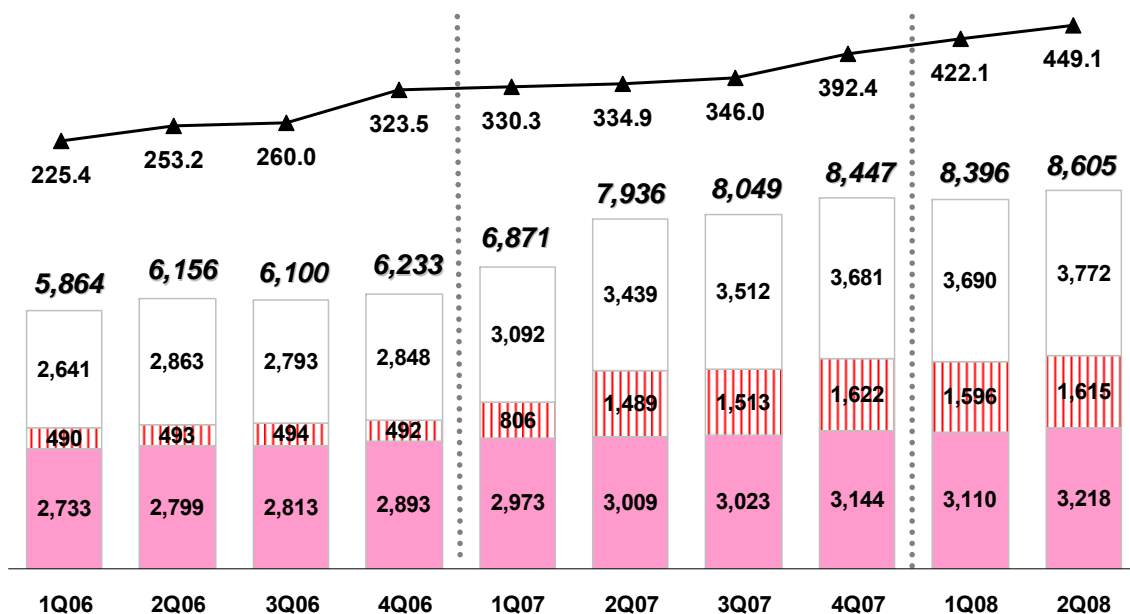
-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス 売上の推移

単位:百万円

営業収益(売上高)



単位:百万円



インターネット接続サービスの状況

◆法人向け接続サービス：

売上高 3,218百万円、2Q07比7.0%増、1Q08比3.5%増

- IP接続はGbps超の超高速契約数が順調に増加（前年同期末比+15件）、足元の受注状況（10G単位数契約）より3Qに更なる売上伸長期待。
- IIJモバイルは大口契約もあり累計約17,000回線受注と計画通り進展、3Q以降課金拡大期待。

◆個人向け接続サービス：

売上高 1,615百万円、2Q07比8.5%増、1Q08比1.2%増

- 上半期では(株)ハイホーによる収益寄与が前年同期4ヶ月分(1,419百万円)から当期6ヶ月分(2,425百万円)へ。
- 光回線契約増加により売上単価上昇、継続売上伸長。

アウトソーシングサービスの状況

売上高 3,772百万円、2Q07比9.7%増、1Q08比2.2%増

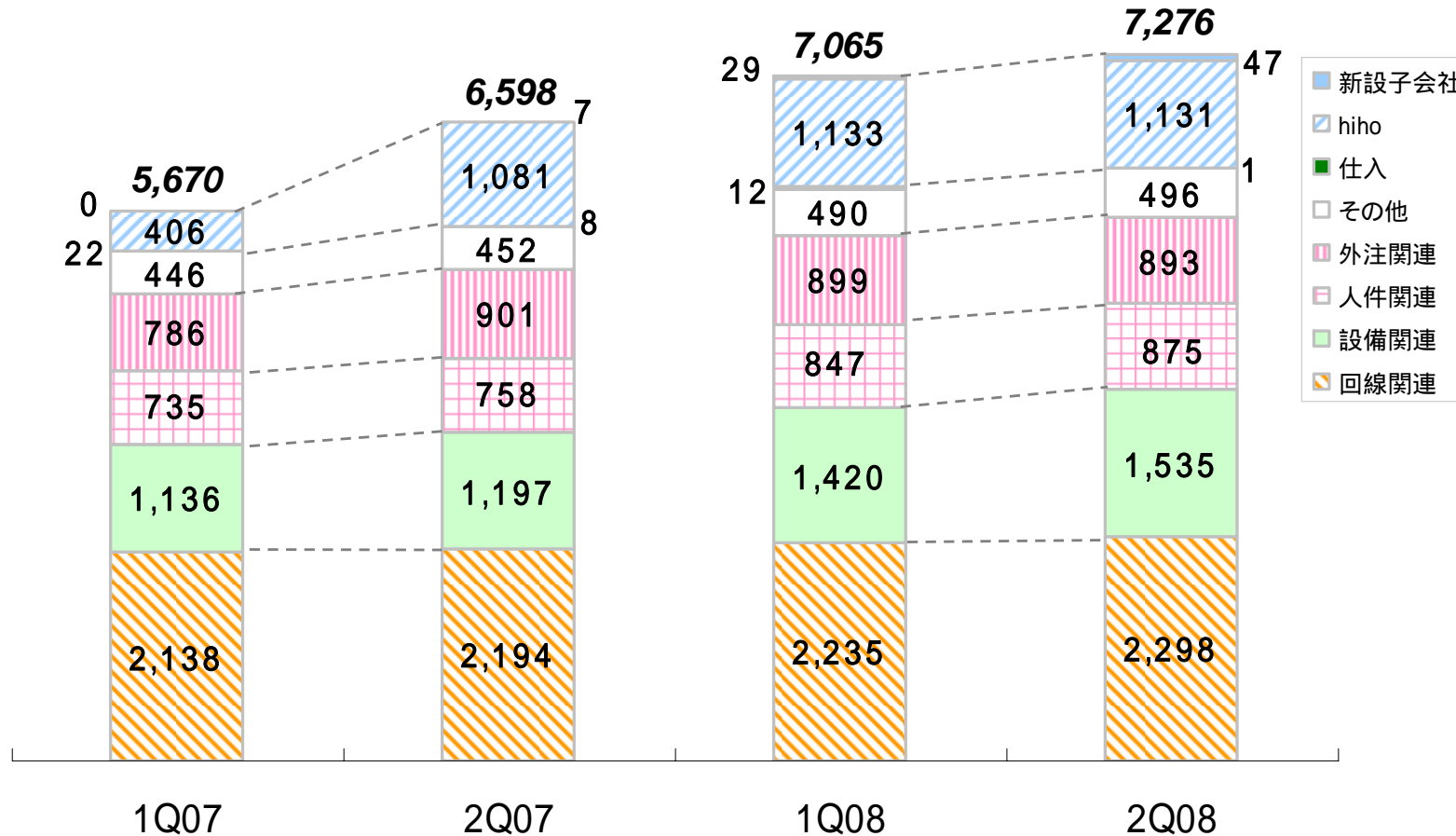
◆データセンターサービス：

- 継続需要を吸収すべく「練馬データセンター」を開設、09年2月より稼働開始予定。

◆セキュリティ系・メール系サービス：

- 迷惑メール対策サービス、DDoS対策サービスなど引き続き底堅い需要に伴い売上継続増加。

-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス 原価の推移

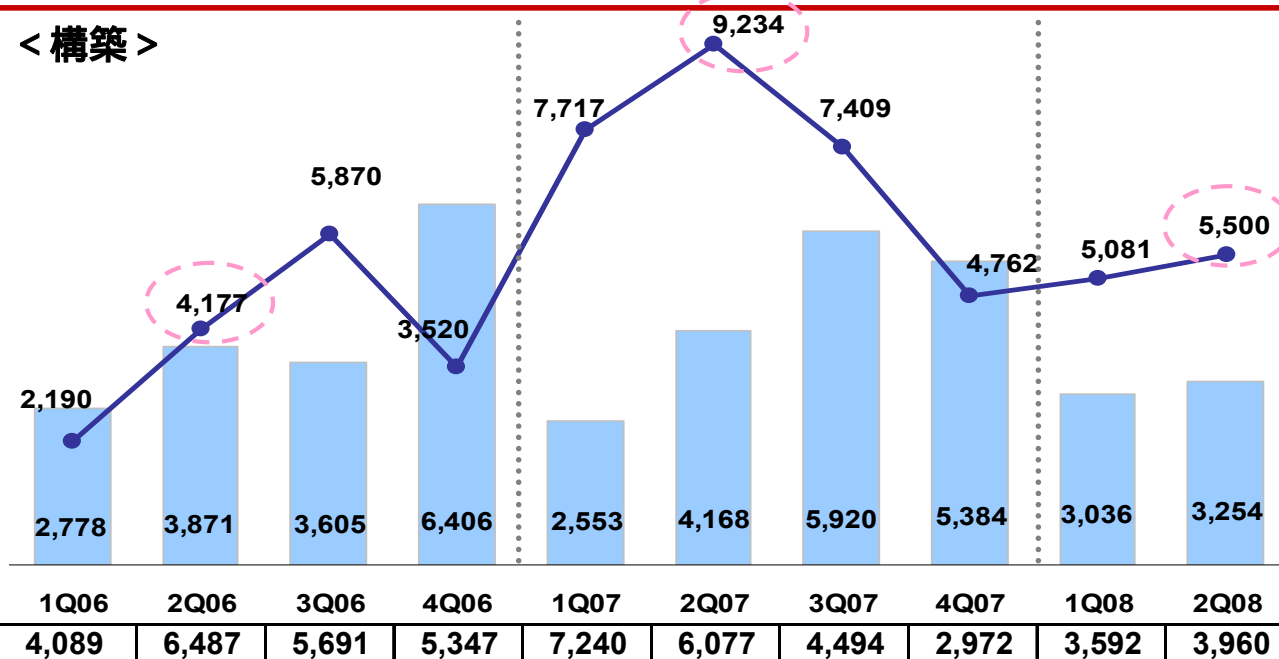


- ◆ 原価総額は2Q07比で+678百万円(10.3%増)。1Q08比で+211百万円(3.0%増)。事業規模拡大に伴い回線関連費用、設備関連費用、人件関連費用等が増加。
 - 2Qにあった日米回線増強、国内バックボーンの継続増強により回線関連費用増加。
 - バックボーンルータ更新等に伴う保守料・賃借料増加、データセンター使用料等の継続増加により設備関連費用増加。
 - 1Qの人員増加に伴い人件関連費用増加。
- ◆ 2Q08にて新設子会社GDX Japan、オンデマンドソリューションズの原価 47百万円計上。

-5. システムインテグレーション

売上の推移

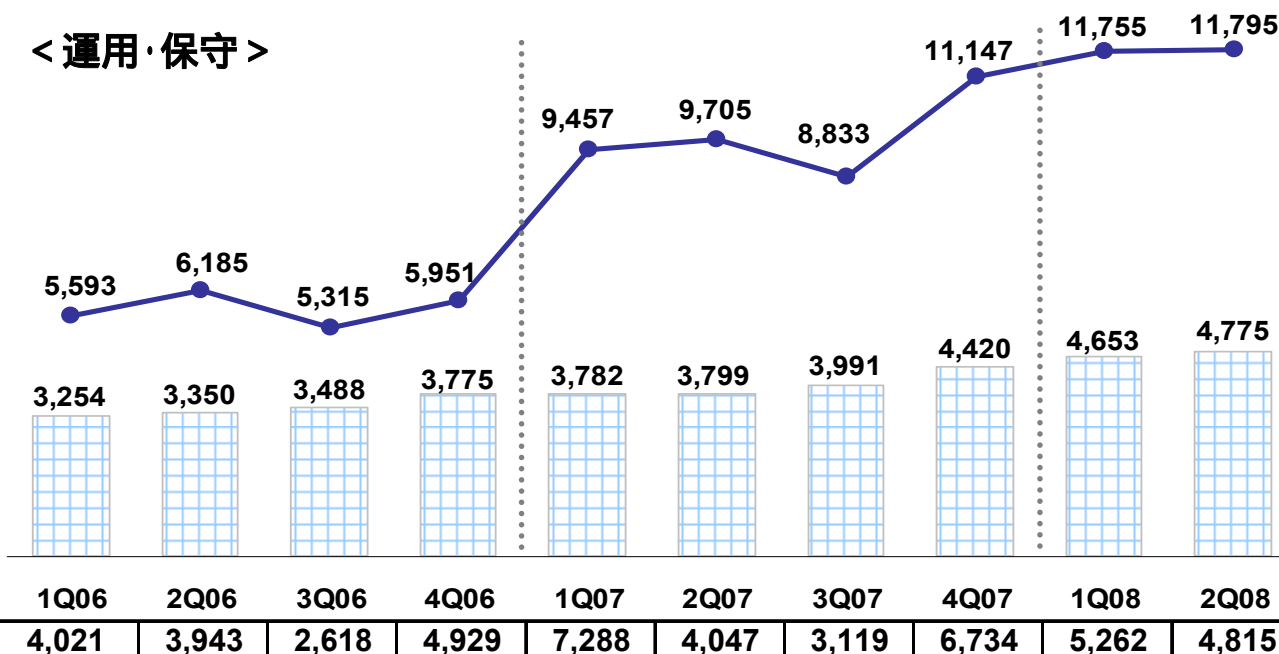
< 構築 >



SI構築の状況

- ◆ 売上 2Q07比 21.9%・914百万円減、1Q08比 +7.2%・218百万円増、計画を下回り推移。
- ネットワーク構築・増強等NI案件は想定通りだがアプリ開発等新規構築投資が景気影響よりずれ込み、順延。
- 不採算案件による利益・リソース影響。
- 2Q08末受注残は2Q07末比減少 (40.4%・3,734百万円減)、2Q06末比増加(+31.7%・1,324百万円増)。

< 運用・保守 >



SI運用・保守の状況

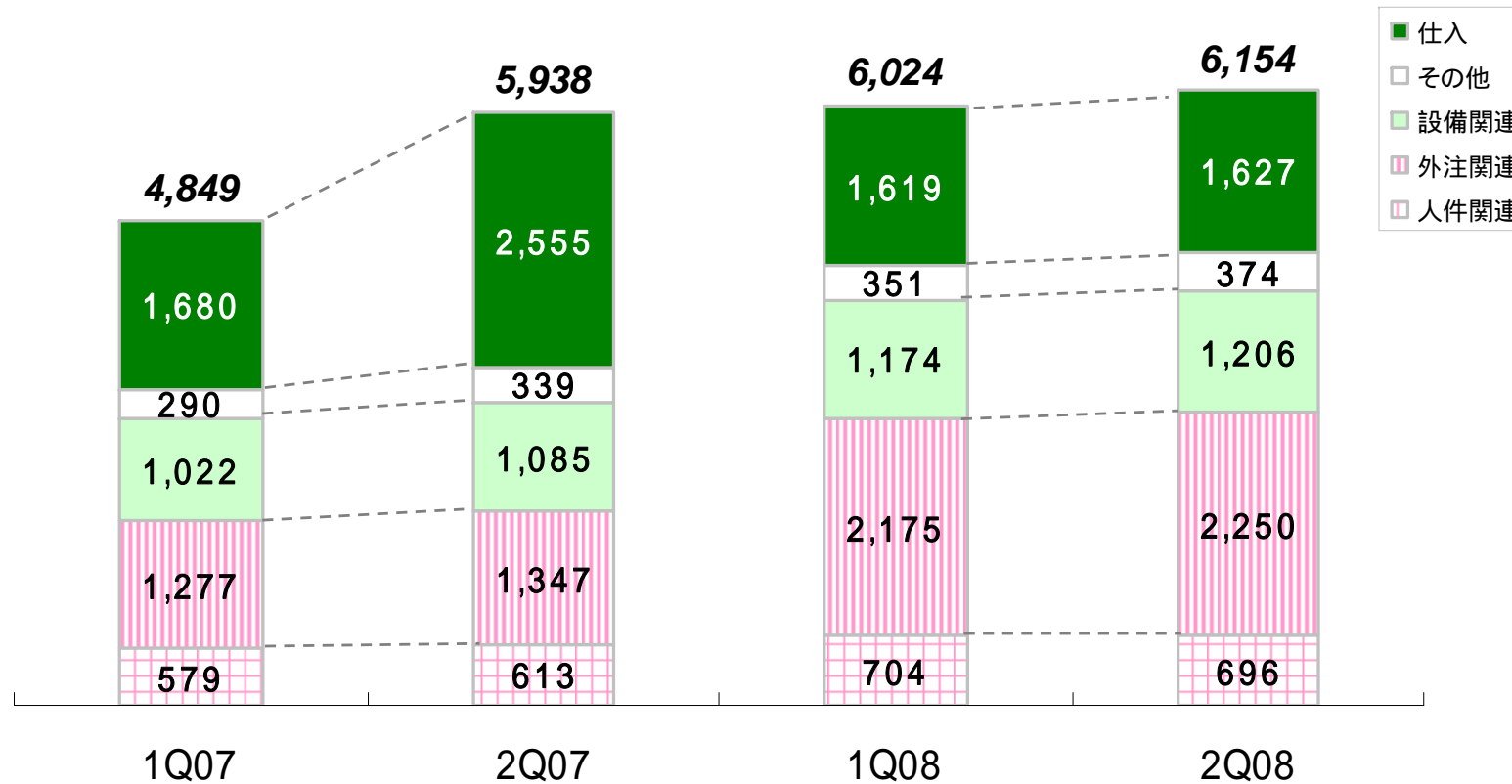
- ◆ 売上 2Q07比 +25.7%・975百万円増、1Q08比 +2.6%・121百万円増と順調に成長。
- スtock売上であり構築売上計上に伴い継続的に増加。
- 受注残高・受注規模も継続成長。

SI構築売上高
 SI運用・保守売上高
 受注残高
 数値
 受注金額

受注金額・残高に
機器販売を含む

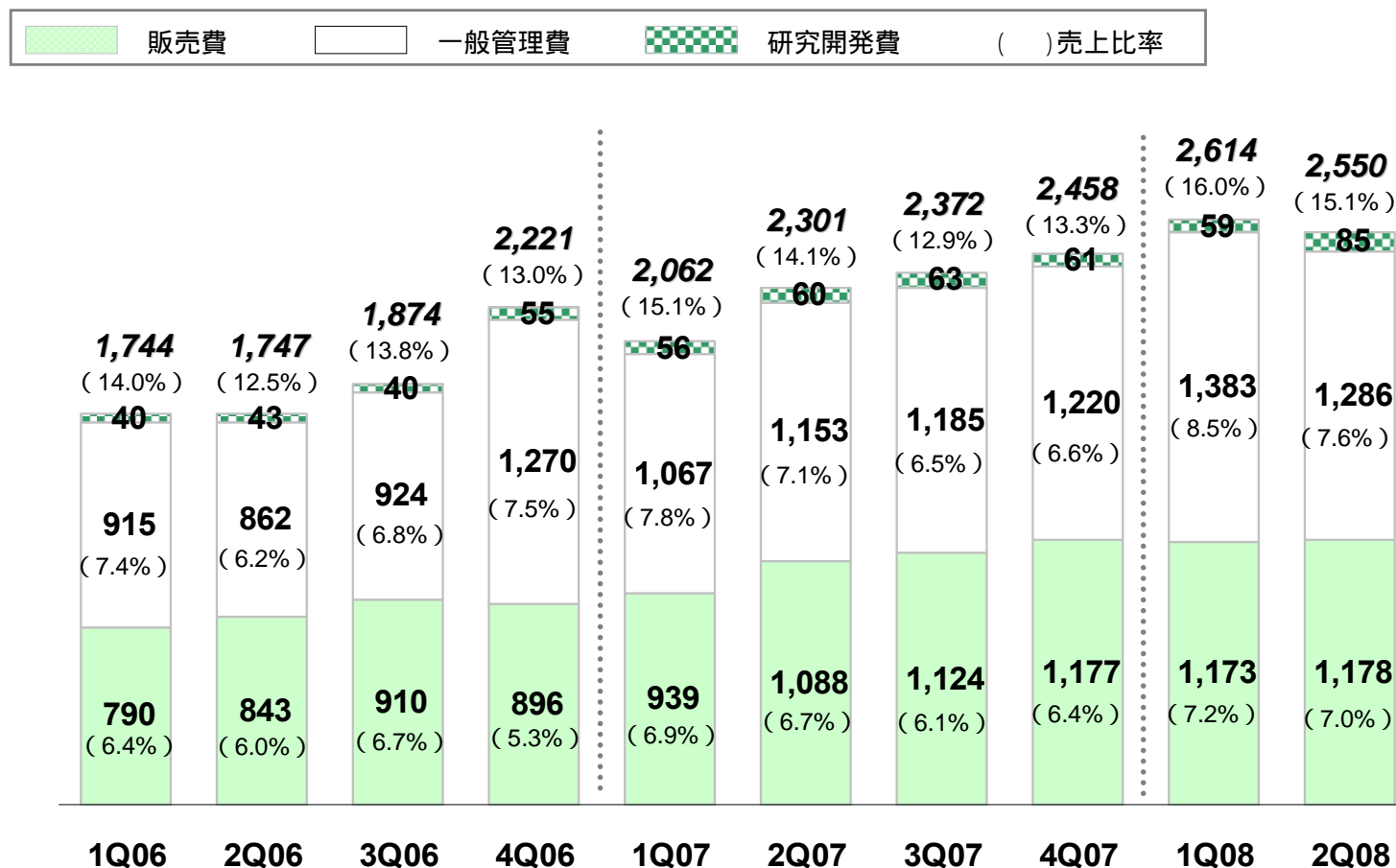
-5. システムインテグレーション

原価の推移



- ◆ 原価総額は、2Q07比 +216百万円(3.6%増)、1Q08比 +130百万円(2.2%増)。
 - 人件関連費用は、事業規模拡大に伴い、2Q07比で13.7%増加、1Q08比では1.1%減少。
 - 外注関連費用は、運用保守売上増加に伴い、2Q07比で67.1%、1Q08比で3.4%の増加。
 - 仕入は、ネットワークシステムの構築売上が2Q07比で 21.9%減少したことにより減少。

-6. 販売管理費の推移



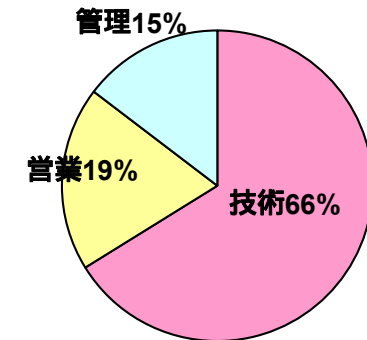
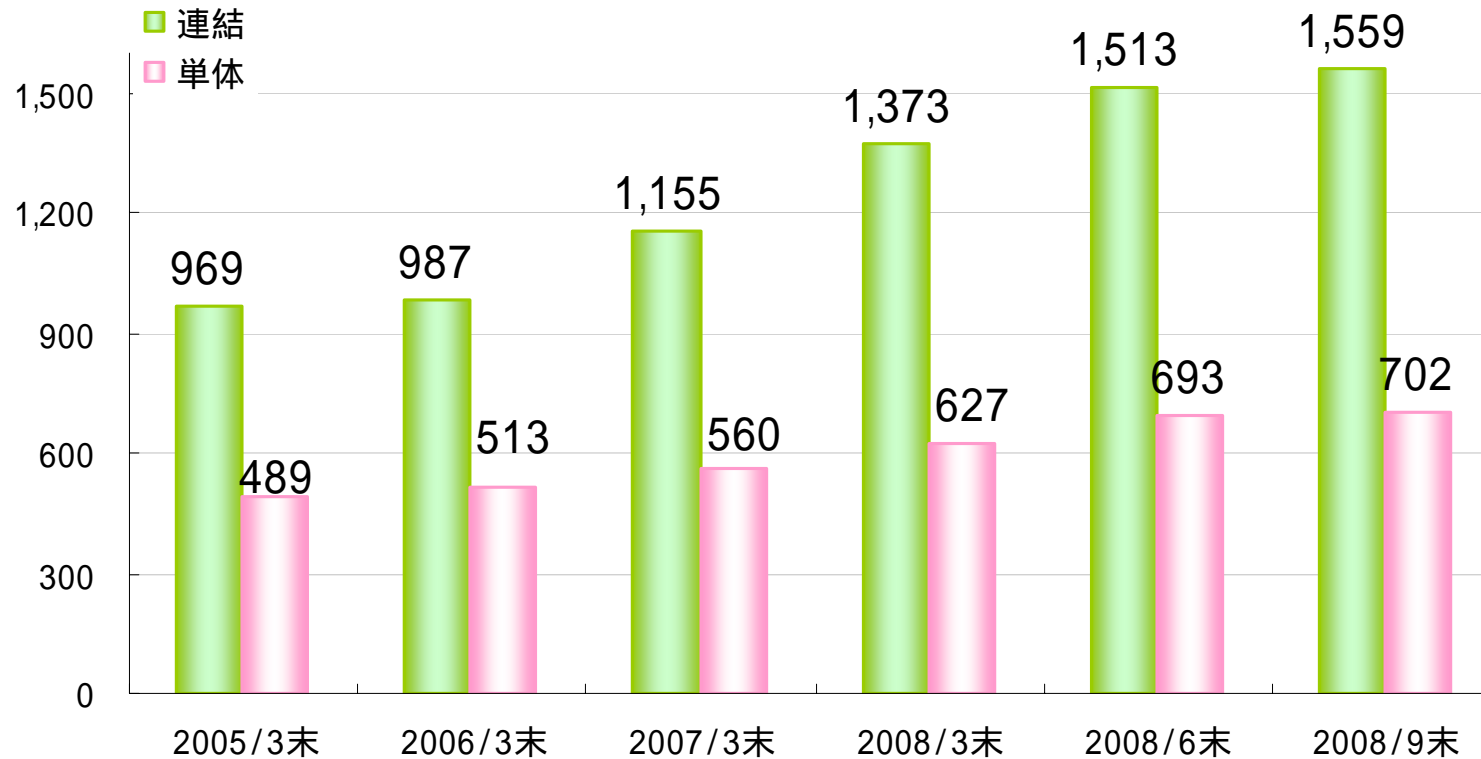
◆ 2Q08 販売管理費合計: 2Q07比10.8%増、1Q08比2.4%減、売上比率は15.1%。

- ハイホーに関する販管費が増加(前上半期4か月分、当上半期6か月分)。
- 1Q08比では広告宣伝費、研修費等が減少。
- 2Q08にて新設子会社 販管費165百万円計上。

-7. 従業員数の推移

<IIJグループの部門別人員構成>

(従業員数: 正社員及び契約社員)



人件関連費用

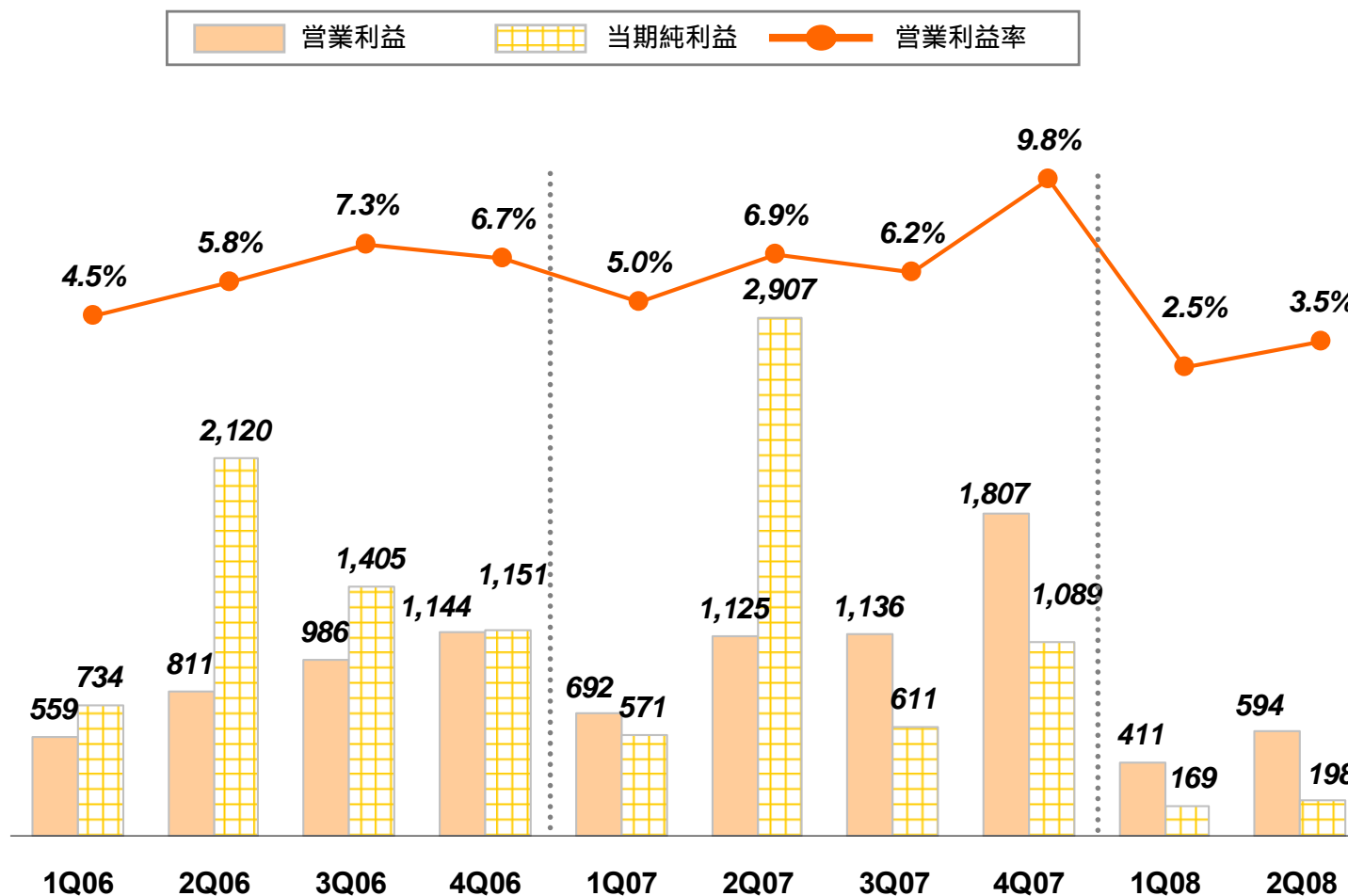
2,599	2,605
-------	-------

 (単位: 百万円)

◆ 1Q08末比46名増。

- 子会社での派遣社員の契約社員化が1Q08比増加の主要因。
- 人件関連費用は1Q08比ほぼ同水準。
- 下期に向けて適切規模にコントロール。

-8. 営業利益・当期純利益の推移

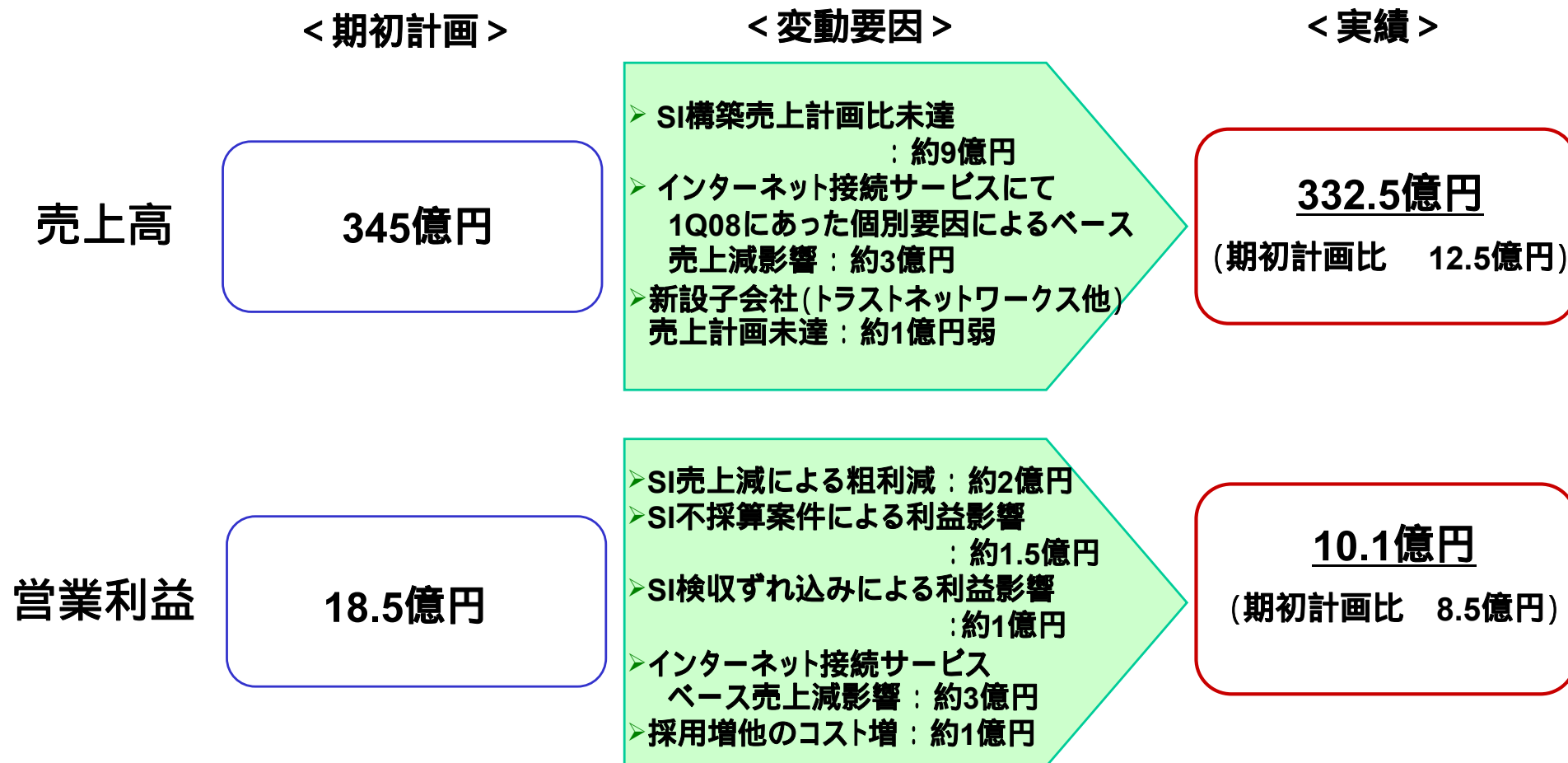


- ◆2Q08 営業利益:
2Q07比47.2%減、1Q08比44.5%増
➢新設子会社4社にて287百万円の営業損失計上。
- ◆2Q08 当期純利益:
2Q07比93.2%減、1Q08比17.4%増
➢その他損益: 支払利息100百万円、投資有価証券評価損失54百万円を計上。
➢法人所得税: 税効果会計による251百万円の法人税等調整額(損)により326百万円。
➢少数株主損益: (株)GDx Japan及び(株)トラストネットワークスに係る損失により85百万円の益。
➢持分法による投資損益: 17百万円の損失計上。

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08
法人所得税	175	1,980	392	552	213	326
少数株主損益	9	15	27	45	55	85
持分法損益(益)	20	29	42	52	18	17

-9. 連結業績予想修正の内容

FY08上期



-9. 連結業績予想修正の内容

FY08通期

< 期初計画 >

< 変動要因 >

< 修正後予想 >

売上高

785億円

- SI構築・機器販売 売上修正
：約36億円強
FY06規模とほぼ同水準へ
- 新設子会社売上修正：約12億円
主にトラストネットワークスATM展開
想定を2Q08 4Q08へ
- インターネット接続サービス
ベース売上補正：約5億円
- ストック売上は継続伸長にて想定

730億円

(期初計画比 55億円)

営業利益

52億円

- SI売上減による粗利減
：約9億円
- SI不採算案件による利益影響
：約1.5億円
- 新設子会社 損失増：約3億円
トラストネットワークス約 2億円、
GDx 約1億円

38億円

(期初計画比 14億円減)

通期計画達成に向けて

- グループ間営業協力体制強化により案件獲得推進。
- SIにてリソース配分を再検討、外注関連費用削減。
- 人材確保は上期に先行実施、下期は足元の業績動向を勘案。
- 原価・販管費等メリハリの効いたコストコントロール実施。

-10. サービスおよび新設子会社の状況

NECやサン電子、ジュニパーネットワークスのルータにSMFv2機能対応



▶「SMFv2」にてあらゆるネットワーク機器の自動設定と一元管理を実現するためのサービスフレームワークを提供。NEC「UNIVERGE」シリーズやサン電子「Rooster」シリーズ、ジュニパーネットワークス「JUNOS®」等次々と他社ルータへ対応。

(SMFに対応したハードウェア「サービスアダプタ」に電源が入るとインターネット網を通じて、IIJが保有する初期設定のためのサーバ「LS (Location Server)」へ自動接続する。)

「練馬データセンター」を新たに開設

- ▶2009年2月より稼働開始予定。
- ▶「アウトソーシングオンデマンド型データセンター」としてIIJグループのサービスと組み合わせて提供。
- ▶外壁の緑化や電力消費量を抑制する仕組みを実装、エネルギー効率の高い環境に優しいデータセンター。



On-Demand Solutions

オンデマンドソリューションズ(株)

- ▶2008年4月設立 連結子会社(100%)
- ▶金融機関1stユーザ向けにプリントオンデマンドサービスを提供開始、順次拡大。



Trust Networks

(株)トラストネットワークス

- ▶2007年7月設立 連結子会社(60.2%)
- ▶ATMネットワーク運営事業稼働・展開に向け準備試行中。4Q08以降拡大予定。



TRUSTED COMMUNICATIONS

GDX Japan (株)

- ▶2007年4月設立 連結子会社(51.0%)
- ▶企業専用のメッセージングプラットフォームサービス「GDX Trusted Platform」の提供。



IIJ INNOVATION INSTITUTE

(株)IIJイノベーションインスティテュート

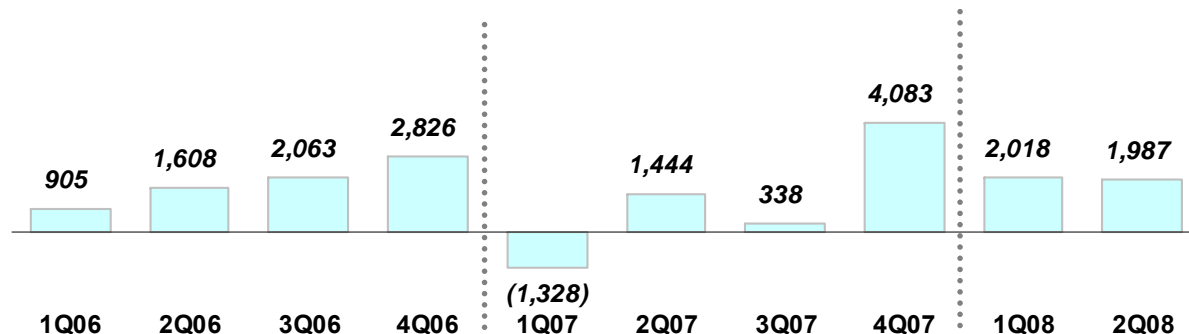
- ▶2008年6月設立 連結子会社(100%)
- ▶大規模データを取り扱うための分散・並列処理のプラットフォーム開発中。

-11. 連結バランスシートの状況

	2008年9月末	2008年3月末	前期末比
現金及び預金	9,319	11,471	2,152
売掛金	9,981	12,255	2,275
たな卸資産	1,537	1,184	+353
前払費用	2,148	2,005	+143
売却可能有価証券	753	844	92
有形固定資産	13,668	11,740	+1,928
営業権及び その他無形固定資産	5,869	5,907	38
その他資産	4,023	4,177	154
銀行借入(短期)	7,000	9,150	2,150
欠損金	19,394	19,555	+161
その他包括利益累計額	72	91	163
資本合計	24,979	24,981	1
総資産	53,275	55,703	2,427

-12. 連結キャッシュ・フローの状況

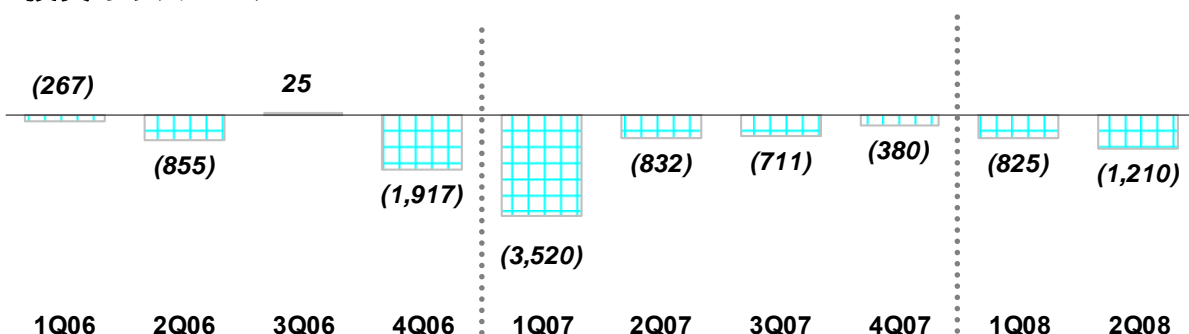
営業キャッシュ・フロー



2Q08営業CFは1,987百万円の収入

- ▶ 売掛金1,185百万円の増加
 - ▶ SI案件に関するたな卸資産及び前払費用等533百万円の減少、仕入れに関する買掛金及び未払金573百万円の増加
- 等

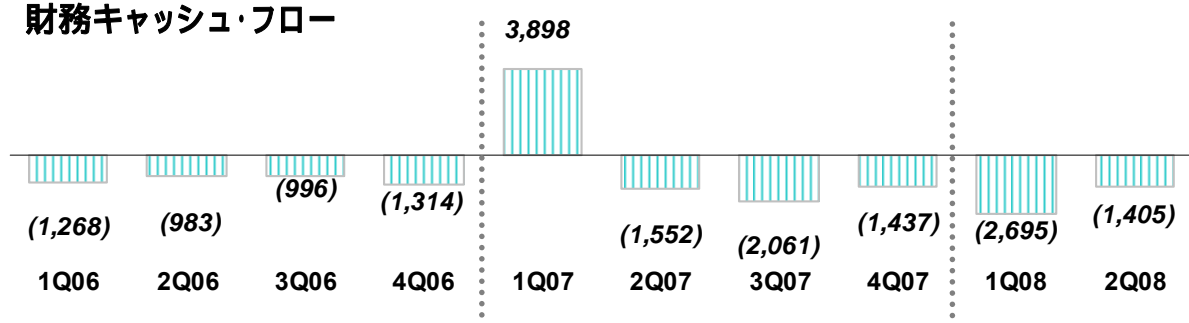
投資キャッシュ・フロー



2Q08投資CFは1,210百万円の支出

- ▶ 有形固定資産の取得による支出980百万円
 - ▶ 短期投資及びその他投資の取得による支出119百万円
- 等

財務キャッシュ・フロー



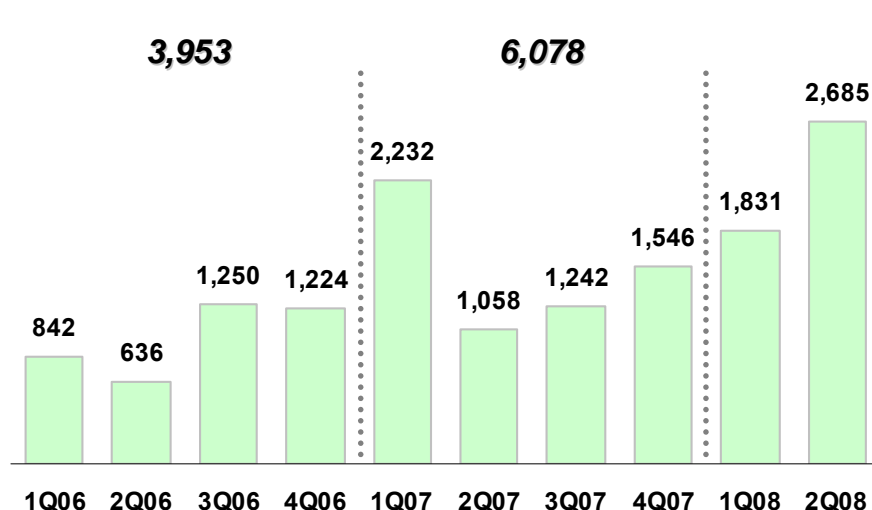
2Q08財務CFは1,405百万円の支出

- ▶ 短期借入の返済500百万円(純額)
- ▶ キャピタルリース債務の元本返済905百万円

-13. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)

単位: 百万円

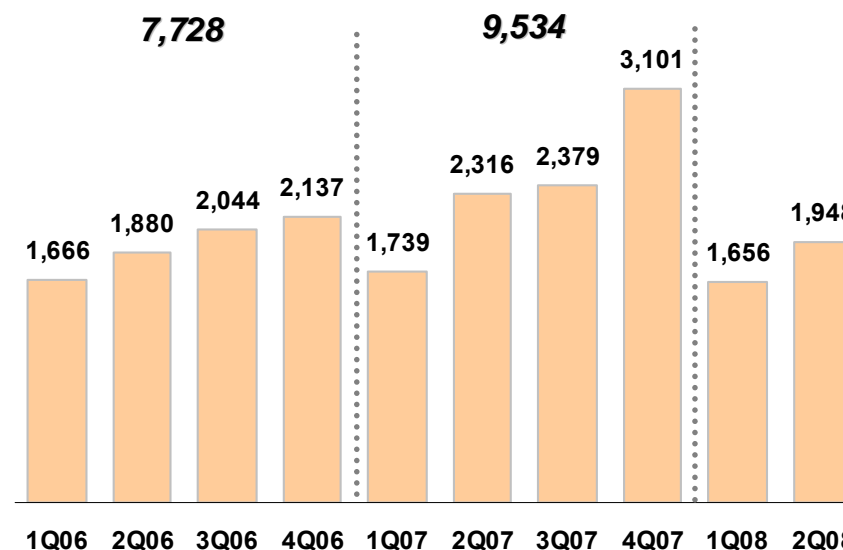
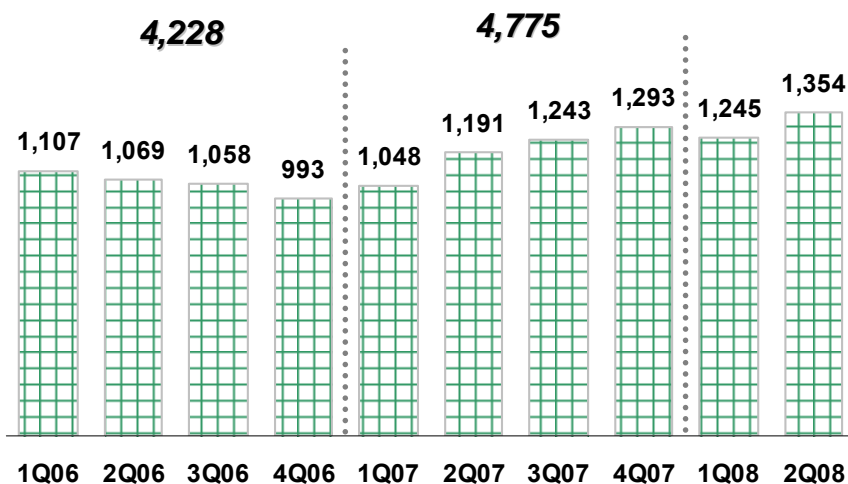


< 2Q08 CAPEX内訳 >

➢ 恒常設備投資	1,071
➢ 新設子会社関連設備	585
➢ IIJバックボーンルータ更新	784
➢ IIJバックオフィス更新	245

Adjusted EBITDA (償却前営業利益)

減価償却



-1. ご参考：2009年3月期 第2四半期連結実績

単位：億円

	売上比 2Q08 (08/7 ~ 08/9)	売上比 2Q07 (07/7 ~ 07/9)	前年同 四半期比
営業収益 (売上高)	169.3	162.9	3.9%
売上原価	81.4% 137.8	79.0% 128.7	7.1%
売上総利益	18.6% 31.4	21.0% 34.3	8.2%
販売管理費等	15.1% 25.5	14.1% 23.0	10.8%
営業利益	3.5% 5.9	6.9% 11.2	47.2%
税引前 第1四半期利益	2.7% 4.6	5.8% 9.4	51.5%
第1四半期純利益	1.2% 2.0	17.8% 29.1	93.2%

-2. ご参考：2009年3月期 連結業績予想

	FY08(予) (08/4～09/3)	FY07実績 (07/4～08/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	73,000	66,835	6,165	9.2%
営業利益	3,800	4,759	959	20.2%
税引前 当期利益	3,000	4,362	1,362	31.2%
当期純利益	2,800	5,177	2,377	45.9%
一株当たり 当期純利益	13,561円	25,100円	11,539円	46.0%
一株当たり 配当金	2,000円 (年間)	1,750円 (年間)	250円	14.3%

-3. ご参考：グループ会社一覧

	社名	出資比率	主な事業内容
連結子会社	 (株)IIJテクノロジー	100%	システムの設計、開発、構築及び運用保守等
	 (株)IIJフィナンシャルシステムズ		金融機関向けシステムの開発、運用保守等
	 (株)ネットケア		ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
新規事業 (FY07~)	 オンデマンドソリューションズ(株)		プリントオンデマンドサービスの提供等
	 (株)IIJイノベーションインスティテュート		インターネット技術開発およびインキュベーション事業等
	 (株)トラストネットワークス	60.2%	金融決済サービス(ATM運用サービス、他)の企画運営
	 GDX Japan(株)	51%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
持分法適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	31%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 タイハイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

-4. ご参考:2008年 主要プレスリリース一覧

期	日付	項目
FY07	4Q	2008/1/21 MVNOとして法人向けに「IIJモバイル」を提供開始
		2/6 MVNOサービス開始に向け、イー・モバイルと合意
		3/12 プリントオンデマンド事業を行う新会社「オンデマンドソリューションズ」を設立
FY08	1Q	2008/5/15 剰余金の配当に関するお知らせ
		5/15 平成20年3月期 通期決算発表
		6/2 IIJ、アッカの光回線に対応した「IIJ FiberAccess/Aサービス」を提供開始
		6/10 IIJ、「IIJイノベーションインスティテュート」を設立
		6/13 「日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)」が発足
		6/16 IIJ技術研究所とアラクサラ、ネットワーク構成の設定自動化に関する共同技術研究を推進
	2Q	7/3 IIJ、「IIJモバイル」に固定IPアドレス対応の新品目を追加
		7/4 「IIJ SMF sxサービス」の接続回線として「IIJモバイル」に対応
		7/17 IIJ、「IIJセキュアMXサービス」において送信ドメイン認証技術「DKIM」に対応
		7/23 IIJ、デジタルテレビ向け動画配信サーバソフトウェアを独自開発
		8/11 IIJ、「IIJモバイル セキュアリンク」を独自開発
		8/12 平成21年3月期 第1四半期決算発表
		8/13 アイパスとIIJ、モバイルデータ通信サービスで提携
		8/28 IIJ、送信ドメイン認証機能を実装するメールフィルタプログラムを無償公開
		9/29 IIJ、「SEIL/B1」を新たに開発
	3Q	10/1 IIJ、「IIJ大規模コンテンツ配信サービス」を提供開始
		10/7 IIJ、インターネットの最新技術動向・セキュリティ情報を定期的に発信
		10/8 IIJ、IIJ-Tech、日本HP「モバイルシンクライアント・ソリューション」において協業
		10/14 IIJ、法人向けモバイル通信サービス分野でアルカテル・ルーセントと協業
		10/20 IIJ、カブドットコムが提供する業界初の移動営業所向けにネットワークインフラを提供
		10/24 業績予想の修正に関するお知らせ
10/28 自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ		

事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述 (forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券及び営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934) に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書 (Form 20-F) 及びその他の書類をご参照下さい。

お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部 IR室)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp



Internet Initiative Japan